

「日本活断層学会 2018 年度秋季学術大会」のお知らせ（第 1 報）

2018 年度秋季学術大会実行委員会

日本活断層学会 2018 年度秋季学術大会を，鳥取市のとりぎん文化会館において，以下の日程で開催します．多数の皆様のお参加をお待ちしております．

1. 日程

2018 年 11 月 23 日(金・祝)～25 日(日)

- 11 月 23 日(金) 一般研究発表，懇親会
- 11 月 24 日(土) 一般研究発表，シンポジウム
- 11 月 25 日(日) 巡検「山崎断層帯」（鳥取発，姫路着の日帰り）

2. 会場

とりぎん文化会館 第 1・2 会議室 他（鳥取市尚徳町 101-5）

<http://site.torikenmin.jp/kenbun/>

3. 大会シンポジウム

テーマ：「潜在断層地震の予測への活断層研究からのアプローチ」

概要：地震調査研究推進本部による活断層地震の地域評価では，鳥取県を含む中国地域北部の地震発生確率が高くなっています．この地域には明瞭な活断層は少なく，活断層よりも地震活動に基づく確率が高く評価され，実際に 2016 年 10 月に鳥取県中部，2018 年 4 月に島根県西部で地表地震断層を伴わない被害地震が発生しています．また，2018 年 6 月に発生した大阪府北部の地震は，明瞭な活断層と直接の関連を持たない潜在断層の活動と考えられています．このため日本列島のいかなる場所でも M6 級の地震が起こり得るとされがちですが，これら潜在断層地震も周辺の活断層分布から推定される広域応力と無関係に発生しているとは考え難く，活断層研究の手法および異分野と連携したアプローチから，発生範囲，走向，メカニズム，規模を推定するなど，今後の地震防災に活かすことができると考えられます．本シンポジウムでは，これまでの活断層研究とは少し異なる切り口で，活断層の明瞭ではない地域の地震想定について議論したいと思います．

- ・一般研究発表(口頭・ポスター)の受付開始は 9 月上旬(10 月中旬締切)の予定です．
- ・シンポジウム，巡検の詳細，参加費および申し込み方法等につきましては，第 2 報でお知らせする予定です．
- ・宿泊に関する情報は，近日中にメールニュースでお知らせする予定です．

お問い合わせ先：大会実行委員会 tottori-af-fm2018@freeml.com